

平成27年度 第1回公益財団法人日本宇宙少年団 理事会議事録

1. 開催日時及び場所

平成27年6月2日(火) 14時00分～17時00分

千代田区神田錦町3-21 ちよだプラットフォーム 503会議室

2. 出席者・欠席者の氏名

(出席理事) 松本晟、稲田伊彦、鍛冶壮一、麻生茂、藤島豊久

(欠席理事) 栢森秀行

(出席監事) 棚橋秀行

(欠席監事) 清水眞金

3. 事務局の氏名

安田みお(議事録作成)、小定弘和

4. 議事次第

審議事項

第1号議案 平成26年度事業報告及び収支決算について
(監事監査の結果及び監事意見を含む。)

第2号議案 宇宙子どもワークショップ2015in金沢実行委員会参加及び負担金について

報告事項

評議員の交代について

その他

5. 議事の経過及びその結果

(1) 理事会開会宣言

定款第33条に基づき松本理事長が議長となり理事会開会を宣し、本会議の議事進行については稲田専務理事があたり審議に入った。

(2) 出席者と定足数の確認

稲田専務理事より、開会の理事総数6名中5名の出席により開催に当たっての定足数を満たしているとして、本理事会が成立していることを確認した。

(3) 前回議事録の確認

稲田専務理事より、平成26年度第4回理事会の最終議事録はメール等でお送りしている通り、特に何もなければ内容について承認されたことを確認した。

(4) 議案審議

第1号議案 平成26年度事業報告及び収支決算について

稲田専務理事より、資料No.1に基づき、平成26年度事業報告及び収支決算について説明を行った。

棚橋監事より、監査報告書に記載のとおり、事業報告は法人の業務運営状況を正しく

示し、計算書類及び附属明細書並びに財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認められるとの監事意見があった。

また、棚橋監事より、今年度の赤字決算について、決算書の詳細を監査したところ、赤字事業となっている事業については、今年度に計画される事業の事業計画と収支予算書を作成し、理事会に提示をいただき議論したい。その結果に沿って赤字にならないよう実施いただきたい旨の発言があった。

麻生理事より、活動委員会の事業については団員サービスの一環として、会費から割り当てられる事業であると考えている。赤字解消にあたっては、財団の固定費を減らすことであり、会費の請求と徴収作業を確実に行うことが大事だという発言があった。

棚橋監事より、平成27年度3月の理事会では、会費収入から固定費を差引くと、赤字になる体質をどう改善していくかの話があった。活動委員会の事業をしなければ財団存続の意味がないのではなく、会費収入に見合う支出で運営していかなければ財団そのものが存続できない旨の発言があった。

麻生理事より、今回のような赤字も年に3回の理事会では財政状態の把握は難しく、毎月ごとに経営状態を全理事がモニターするべきではないかという発言があり、4月からの月次決算データを事務局より各理事、監事にメールにて送付しモニターすることが了承された。

稲田専務理事より、平成26年度事業報告及び収支決算について、諮ったところ出席理事全員一致で承認された。

第2号議案 宇宙子どもワークショップ[®]2015in金沢実行委員会参加及び負担金について

稲田専務理事より、資料No.2に基づき、宇宙子どもワークショップ[®]2015in 金沢実行委員会参加及び負担金について説明を行った。

稲田専務理事より、金沢で実施される宇宙子どもワークショップ[®]2015in 金沢は、特定費用準備資金を使った2つの事業目的を兼ね備えたものとして、金沢市と一緒に事業を効果的に行えるようにするために実行委員会形式で実施することで波及的効果をもたらすこととなる。従って、本実行委員会予算には、特定費用準備資金の今年度予算の一部を負担金として充当し実行委員会に参加したい旨の説明があり、本件について諮ったところ出席理事全員一致で承認された。

棚橋監事より、本実行委員会に顧問が設置される場合には、当財団松本理事長にも顧問として参加することをお願いしてはどうかの発言があり、松本理事長は顧問就任に了承のもとで、麻生理事より、6月5日(金)の実行委員会に提案する旨の発言があった。また、棚橋監事より、実行委員会の収支計画案に対し、予算が余った場合や赤字になった場合のことが規約にないので、その扱いをどうするか先に決めておく必要がある旨の発言があり、実行委員会出席の麻生理事、藤島理事は本件について、実行委員会の席で意見を述べる事となった。

(5) 報告事項

資料No.3に基づき、評議員の交代について説明を行い、6月18日(木)の評議員会で退任と就任が議決する旨、報告があった。

(6)その他

稲田専務理事より、参考資料No.3に基づき、活動委員の任期が今年8月末となっており、次回理事会で議論することをリマインドさせていただく旨、説明があった。

事務局小定より、資料No.4に基づき、経年団員推移について説明を行った。

麻生理事より、団員の中には活動には参加しないが、年に4回の冊子「宇宙のとびら」が届くことや、将来のキャリアパスの情報源として活用することをメリットに感じ団員のままであり続ける中学生・高校生が約250名いる。一つの方法として中高生だけの団員を集めたスクーリング活動などを考えたい旨の発言があった。

麻生理事より、追加資料に基づき、5月31日に行われた活動委員会の報告があった。これに対して、棚橋監事より、活動委員会の報告の中で、各ブロックに対する補助金40万円の使用用途について金沢でのイベントに参加する出張費にその一部を当てる提案もあるが、このような支出は本来の補助金の目的である各ブロック内での共通事業に役立てるとい趣旨に反するとの意見が有り、各ブロック長に対して金沢への出張費には適用しないことを理事会で決定し、地区ブロック長へはその旨の連絡を行うこととなった。

また、稲田専務より、9月末の時点で専務理事を退任したい旨の話が有り、現在後任者についての選定を考えているとの話があった。

以上によって本理事会の議事が終了したので、議長は閉会を宣し、17時00分に理事会が終了した。

この議事録が正確であることを証するため、出席した理事長及び監事は記名押印する。

平成27年 6月 2日

理事長 松本 晟 押印済

監 事 棚橋 秀行 押印済